

1 山形県の教育



学校、児童・生徒、教員

校種	学校数	児童・生徒数	教員数
小学校	221	44,127	3,754
中学校	95	24,639	2,145
義務教育学校	3	1,138	115
特別支援学校	19	1,197	806
高等学校	44	15,698	1,733
計	384	89,309	8,647



令和7年5月1日現在(国立・公立)

学校には、国立を含む。教員には、養護教諭、栄養教諭、講師等を含む。

山形県の教育

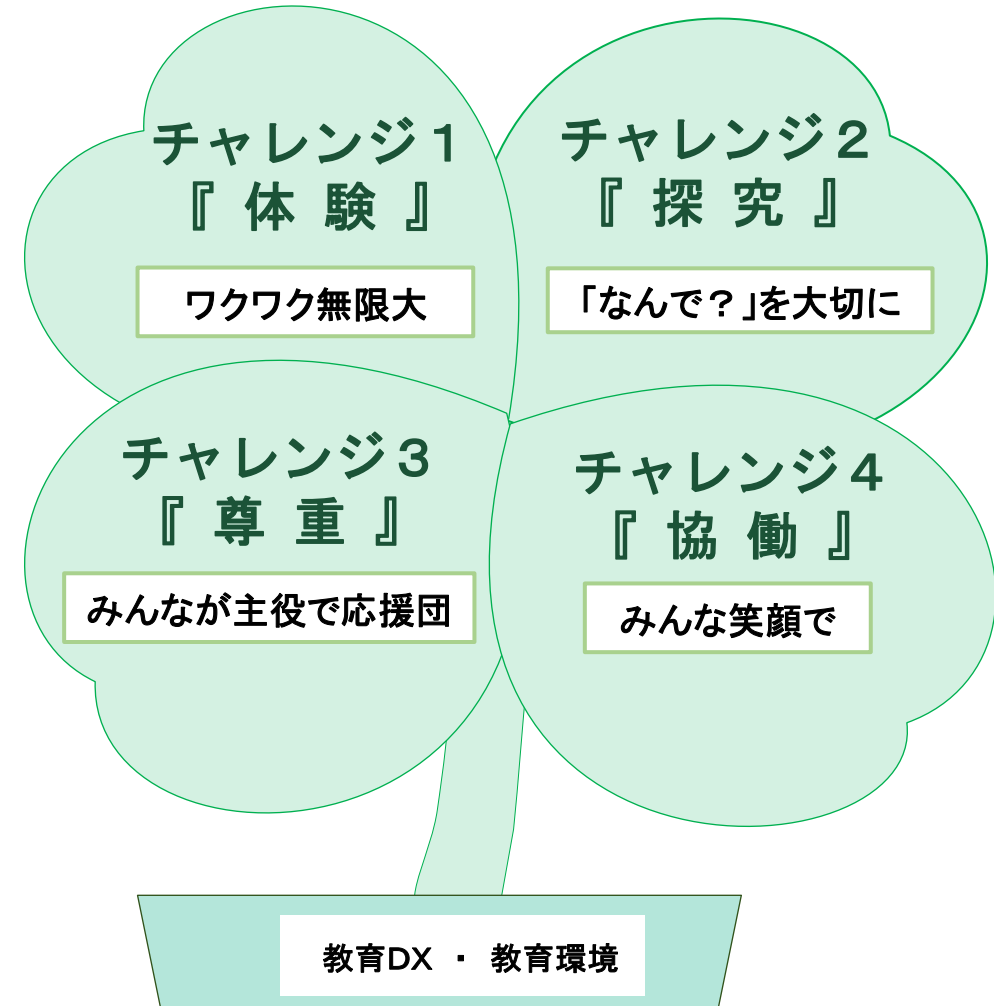
第7次山形県教育振興計画
(令和7年度～概ね10年間 方針以下は5年間)

「ウェルビーイングを目指し、
多様性あふれる持続可能な
社会の実現を担う山形の人づくり」

【ウェルビーイングを目指すために】

個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるために、県民みんなが自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要。

<県民みんなでチャレンジ>



特色ある教育

○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

- ・ 小学校 18人～33人の少人数学級編制を実施
- ・ 中学校 18人～33人の少人数学級編制を実施
- ・ 小中の特別支援学級 6人以下の少人数学級編制を実施



資質・能力の育成

特色ある取り組み

「新採教員育成・支援事業リーフレット」のご案内

(1) 大卒新採教員等が教科担任(兼)学級副担任となる場合

大卒新採教員等が教科担任(兼)学級副担任となる学校には、教員が1人多く配置されます。

学級担任



教科担任(兼)学級副担任



(大卒新採教員)

- 大卒新採教員等は担任を持たず、教科担任として、週17コマ程度、複数のクラスで特定の教科の授業を行い、授業力を身につけます。
- 学級(学年)副担任として、先輩教員のそばで学級経営や保護者対応等を学び、担任力を身につけます。(p. 4参照)

【教科担任(兼)学級副担任の学校生活(例)】

出勤	朝の会	1校時 空き 教材研究	2校時 理科 5の1	中休み	3校時 理科 5の3	4校時 理科 5の3	給食	廊下 休み	清掃	5校時 空き 印刷指示	6校時 理科 5の2	帰りの会	放課後	通期
													行事準備 学年会	成績 整理

先輩教員の学級経営を見ることで、学級担任として活かしたいことを学ぶことができます。

実践を振り返りながら同じ授業を繰り返すことができるので、授業力の向上につながります。

ワークライフバランスが整うので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。



(週持ち授業時数 17時間)

	月	火	水	木	金
1	空き	理 6の1	空き	理 6の2	理 5の1
2	理 5の1	理 6の1	理 5の1	理 6の2	初任研
3	理 5の2	初任研 理5の3	理 5の3	空き	初任研
4	理 5の2	初任研	理 5の3	空き	空き
5	外 5の3	理 6の2	空き	外 5の3	理 6の1
6		空き	理 5の2	空き	空き

(2) 大卒新採教員等が学級担任となる場合

大卒新採教員等が学級担任となる学校には、新採教員支援員が1人配置されます。

学級担任



(大卒新採教員)

(新採教員支援員)



- 大卒新採教員等は学級担任として週14~17コマ程度(低学年は11~14コマ程度)授業を受け持ちます。
- 空き時間を活用しながら、教材研究や学級事務を行うことで、授業力と担任力を身につけます。
- 免許を持つ場合、大卒新採教員等の学級の授業を週5~8コマ程度持ちます。
- 免許を持たない場合、大卒新採教員等の学級事務の補助等を行います。(p. 4参照)

【これまでの学級担任の学校生活(例)】

出勤	朝の会	1校時 社会	2校時 国語	中休み	3校時 算数	4校時 音楽	給食	廊下 休み	清掃	5校時 特活	6校時 体育	帰りの会	放課後	通期
													行事準備 学年会	成績 整理



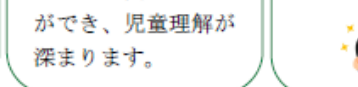
【新採教員支援員が配置された場合の学校生活(例)】

出勤	朝の会	1校時 空き 教材研究	2校時 国語	中休み	3校時 算数	4校時 空き 印刷指示	給食	廊下 休み	清掃	5校時 特活	6校時 体育	帰りの会	放課後	通期
													行事準備 学年会	成績 整理

教材研究を行う時間があるので、よりよい授業作りを行うことができます。

空き時間に点検業務や丸つけ、教材研究などがあるので、休み時間に子どもたちと関わることができ、児童理解が深まります。

時間と心にゆとりができるので、笑顔で子どもたちと向き合えるようになります。



(週持ち授業時数 21時間)

	月	火	水	木	金
2	空き	道	国	算	初任研
3	算	初任研 算	算	国	初任研
4	社	初任研	音	国/音	国
5	体	社/家	特活	体	家
6		総合	体	空き	総合

(週持ち授業時数 17時間)

	月	火	水	木	金
1	国	国	空き	国	算
2	空き	道	国	算	初任研
3	算	初任研 算	算	空き	初任研
4	空き	初任研	空き	空き	国
5	体	空き	特活	体	空き
6		総合	体	空き	総合

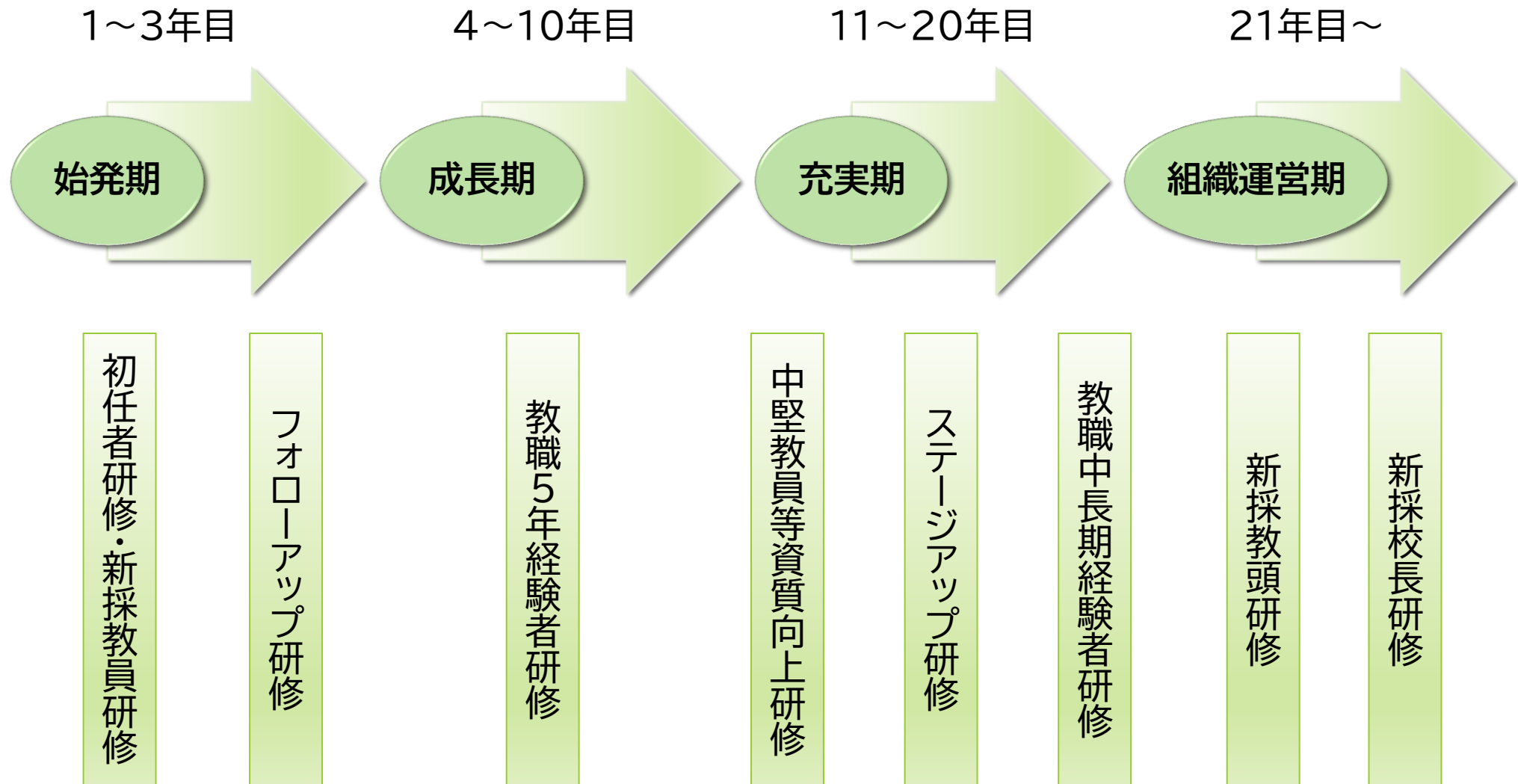


2 研修体制



キャリアアップ

～教員ライフとキャリアステージ～

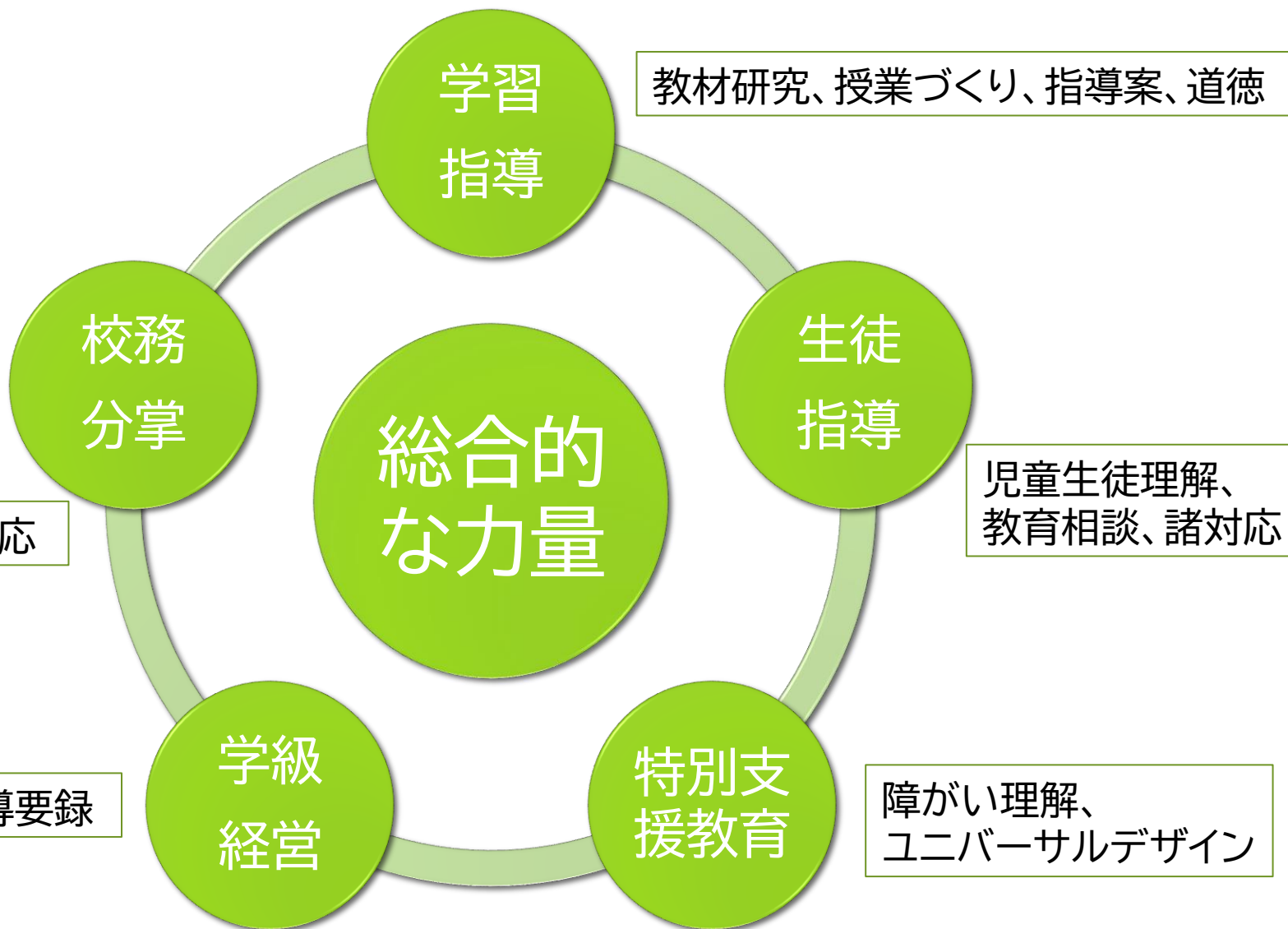


初任者研修

～校内における研修(年間90時間～120時間)

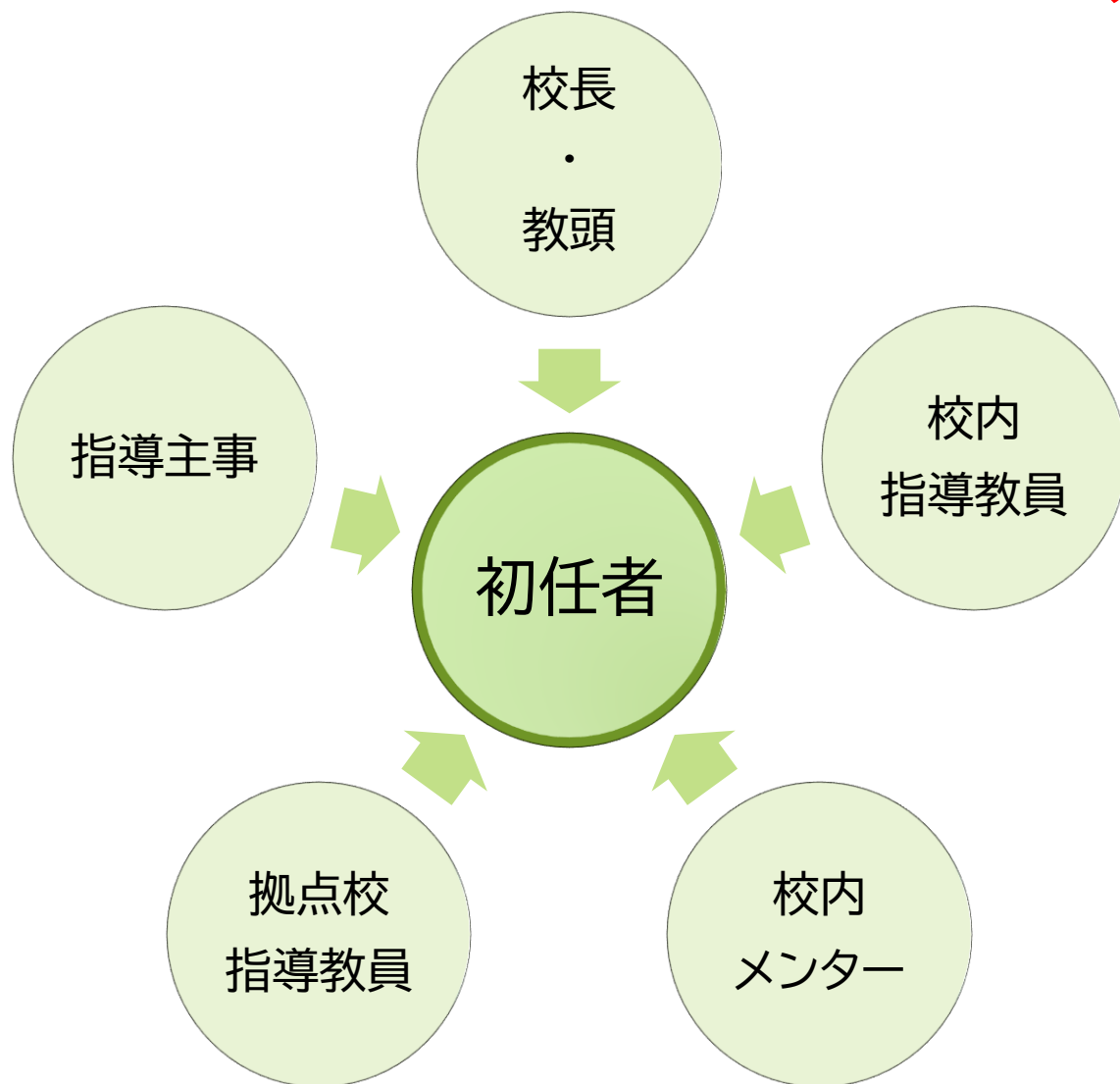
OJTによる力量形成 (On the Job Training)

学校現場における実際の実務
をととした研修を実施



若手教員とともに育つ

- 1年目だけではなく、2～3年目のフォローアップ研修と合わせた一体的な研修を実施



3 職場環境



学校の働き方改革

R6年度 月平均の時間外在校等時間

小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
31時間58分	39時間20分	19時間25分	37時間32分
①教材研究・授業準備 ②校務分掌 ③その他	①校務分掌 ②教材研究・授業準備 ③部活動	①教材研究・授業準備 ②校務分掌 ③その他	①校務分掌 ②部活動 ③教材研究・授業準備

学校の働き方改革

山形県公立学校における働き方改革 第Ⅲ期プラン（概要）

目的 ● 本県の教育の質の向上を目指し、教員の心身の健康と専門性を維持・向上させながら「働きやすさ」と「働きがい」を実感して業務に従事できるよう教育環境を整備し、教員のウェルビーイング向上を図る	取組み期間 令和8年度～令和11年度
	「働きやすさ」目標（時間外在校等時間） ● 月における時間外在校等時間45時間超の教員数0人を目指す ● 1年間における月平均時間外在校等時間について30時間以下を目指す

第Ⅱ期プランの振り返り

年間における月平均45時間超の人数			
	R4・第1期末	R5	R6
小	852人	764人	582人
中	1,030人	870人	734人
特	10人	23人	13人
高	583人	529人	504人

1年間における月平均時間外在校等時間			
	R4 第1期末	R5 (R4年度比)	R6 (R4年度比)
小	35時間32分	34時間21分 (-1時間11分)	31時間58分 (-3時間34分)
中	45時間29分	42時間20分 (-3時間09分)	39時間20分 (-6時間09分)
特	22時間08分	21時間45分 (-0時間23分)	19時間25分 (-2時間43分)
高	40時間47分	38時間35分 (-2時間12分)	37時間32分 (-3時間15分)

- 主な課題**
- **子どもと向き合う時間の確保**
学校と教員の業務を明確化しつつ外部人材や地域の協力を得て時間的余裕を生み出すことで、働きがいのある教員本来の業務に専念できる環境づくりが必要。
 - **組織マネジメントの推進**
PDCAサイクルによる更なる業務の精選及び平準化を図るとともに、管理職からの個別の働きがいに伴って長時間勤務者の解消を推進することが必要。
 - **職場環境の更なる改善による人材確保**
相談しやすい働きやすい環境を実現し、多くの人材を確保できる職場づくりが必要。

働き方改革連絡協議会

県教育委員会と市町村教育委員会が、働き方改革を計画的かつ円滑に推進するために必要な方策について協議する。

第Ⅲ期の取組み方針と具体的な取組み内容

方針1 教員が子どもと向き合う時間・自ら学ぶ時間の確保

取組みの柱① 外部人材・専門人材の活用

- ・ 教員業務支援員やスクールカウンセラー等の外部人材・専門人材配置の推進と効果的な活用 **拡充**
- ・ スクールロイヤー制度の充実 **拡充**

取組みの柱② 地域や家庭の協力・分担、業務の外部委託の推進

- ・ 地域学校協働活動の推進（地域人材活用の活性化）
- ・ 学校への過剰な苦情・不当要求への対応や学校施設管理の体制整備等、学校と教員が担う業務の明確化・適正化 **新規**

取組みの柱③ 事務処理の効率化・デジタル学習基盤の有効活用

- ・ 市町村立学校における「共同学校事務室」の整備推進 **新規**
- ・ 県立学校における長期休業中のテレワーク環境の整備 **新規**
- ・ デジタル学習基盤を活用した児童生徒の情報共有、教材の集約等の推進

取組みの柱④ 教育課程・指導体制の見直し

- ・ 余剰時数削減を含めた教育課程の見直し等の推進
- ・ 小学校における教科担任制の推進 **拡充**

取組みの柱⑤ 部活動改革の推進

- ・ 部活動改革ガイドラインの遵守の徹底、勤務時間内で実施する平日の部活動の在り方検討 **拡充**
- ・ 部活動の地域展開の整備推進 **拡充**

方針2 組織マネジメントの推進

取組みの柱⑥ PDCAサイクルを活かした意識改革

- ・ 全教職員に対する「『働きやすさ』と『働きがい』アンケート」の実施 **新規**
- ・ 学校における働き方改革に係る取組み状況チェックシートの活用
- ・ 管理職に対する人事評価（業績）における目標設定の義務化

取組みの柱⑦ 長時間勤務者への対応

- ・ 月時間外在校等時間80時間超の教員が所属する学校の管理職への働きかけの強化 **拡充**
- ・ 45時間超、80時間超の教員に対する面接指導等

方針3 働きやすい職場づくりによる人材確保

取組みの柱⑧ 健康的で働きやすい職場づくり

- ・ 大学新卒の新規採用者の授業準備・教材研究等の時間確保
- ・ ストレスチェックの実施と結果の活用
- ・ 年次有給休暇の取得推進、男性育休の取得率向上、休暇制度の活用推進

取組みの柱⑨ 教員人材の確保

- ・ 教員採用試験の改善による教員人材の確保
- ・ 人材マッチングシステムの活用等による代替教員等の確保 **新規**
- ・ 大学院生や大学生の学校での非常勤講師任用の拡大 **拡充**

学校の働き方改革

○人材の確保及び外部人材の活用

- 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)
- 校務補助員
- 部活動指導員
- SC(スクールカウンセラー)
- SSW(スクールソーシャルワーカー)
- SL(スクールロイヤー) など

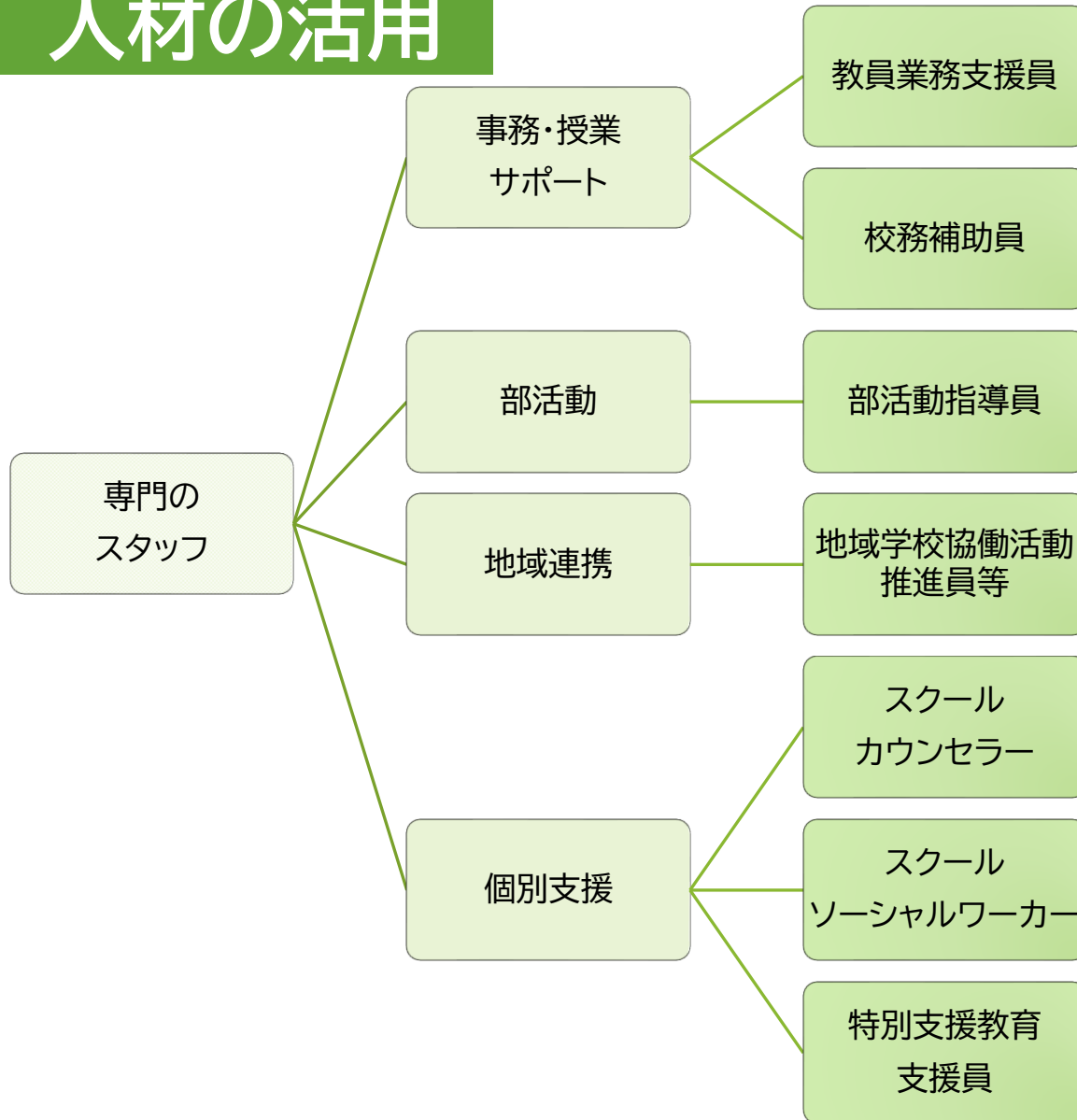
○ICTの有効活用

- 校務支援システム
- デジタル採点
- 保護者等への連絡 など

○教員の事務負担軽減

○勤務時間に対する意識の啓発 など

人材の活用



県内の小中学校、義務教育学校の全校に配置
特別支援学校(本校)の全校に配置

すべての高校

公立中学校93校
高校12校

地域学校協働活動152本部
地域学校協働活動推進員等300名

県内すべての小中高等学校に派遣

県内すべての小中学校に派遣

高校26校

左記以外にも、
市町村独自に

- ・学習支援
 - ・特別支援
 - ・教育相談
 - ・読書活動
 - ・日本語指導
 - ・外国語指導
- 等々

を担当する方が
たくさんいます。



部活動ガイドライン

山形県における部活動改革及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン（抜粋）[令和8年3月策定]

適切な活動時間・休養日

校種	所属	平日	休日	備考
中学校	地域クラブ活動	2時間程度の活動	<ul style="list-style-type: none">・ 3時間程度の活動・ 休日のみ活動する場合は原則、土日どちらかを休養日に設定	<ul style="list-style-type: none">・ 週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内・ 週2日以上休養日を設定
	学校部活動	<ul style="list-style-type: none">・ 2時間程度の活動・ 週1日以上休養日を設定	原則、実施しない	中体連・中文連主催大会等に参加する場合は、学校設置者のガイドラインに沿うこと
高校	学校部活動	<ul style="list-style-type: none">・ 2時間程度の活動・ 週1日以上休養を設定	<ul style="list-style-type: none">・ 3時間程度の活動・ 週1日以上休養日を設定	生徒や部活動の指導者の過度な負担とならないよう計画

4 待遇

○給与等

○休暇等

○福利厚生



給与・手当

□初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	234,900円	245,600円
山形県の教育職＝教諭 (R7:参考)	273,728円 (R7:259,688円)	290,888円 (R7:276,848円)

○教育職は教職調整額を含む。

○初任給は職歴、経験年数を加算

□手当

・期末勤勉手当 … 4.65ヶ月分(令和7年度実績)を、6月と12月に分けて支給

・住居手当 例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500

・扶養手当 … 扶養する「子」等がいる場合に支給

・通勤手当 … 通勤距離、通勤方法に応じて支給

他にも様々あります

休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)
・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

□休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7～9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1～10日の範囲
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

5 試験の 変更点



R9採用(令和8年度実施)における変更点等

1. 元職教員特別選考、現職教員特別選考における出願要件の緩和
2. 東京会場(一次試験)における対象校種、教科・科目の拡大
3. 秋選考の本格実施
4. 加点制度の拡大
5. (令和10年度採用をもって)小学校英語の採用枠終了
6. 適性検査のオンライン化

変更点

1.元職教員特別選考、現職教員特別選考における出願要件の緩和

【変更前】

・小学校または中学校の勤務経験者(3年以上)は、該当免許があれば、小学校または中学校へ出願できる。



【変更後】

・小学校、中学校、特別支援学校の勤務経験者(3年以上)は、該当免許があれば、小学校、中学校、特別支援学校へ出願できる。

変更点

2.東京会場(一次試験)における対象校種、教科・科目の拡大

【R8採用】

対象校種等:小学校、特別支援学校小学部

中学校(国語、理科)、特別支援学校中学部(国語、理科)

高等学校(国語、情報、機械、電気、土木、工業化学、商業)



【R9採用】

対象校種等:小学校、特別支援学校小学部

中学校(国語、理科、技術)、特別支援学校中学部(国語、理科、技術)

高等学校(教科・科目は実施要項で公表)

変更点

3.秋選考の本格実施

【選考を行う校種】

小学校、中学校、特別支援学校のうち、実施要項(10月下旬公表予定)で示す校種、教科・科目

【選考区分】

元職教員特別選考Ⅲ、現職教員特別選考Ⅲ

変更点

4. 加点制度の拡大

【変更前】

大学推薦特別選考において、3年次特別選考A合格者へ加点(10点)を行う。



【変更後】

大学推薦特別選考に出願した者へ加点(10点)を行う。

このうち、3年次特別選考A合格者への加点は15点とする。

変更点

5.小学校英語の採用枠終了

小学校英語の採用については令和10年度採用までとし、それ以降は実施しない。

- ※ 中学校又は高等学校の英語の普通免許状を有する者(取得見込みの者を含む)への加点については継続予定です。

変更点

6.適性検査のオンライン化

【変更前】

- ・二次試験において、紙面で適性検査を実施する。



【変更後】

- ・一次試験合格者に対し、二次試験前にオンラインで適性検査を実施する。

6 試験の概要



選考を行う校種等、教科・科目と採用数

校種等		教科・科目	採用数
小学校教諭 (小学校英語を含む)			135名
中学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	90名
特別支援 学校	小学部教諭		30名
	中学部教諭	中学部教諭の教科は中学校教諭に同じ	
高等学校	教諭	国語、「世界史・日本史」、公民、数学、生物、保健体育、美術、英語、家庭、情報、機械、電気、土木、工業化学、商業	30名
	助教諭	機械、電気、土木、工業化学	
養護教諭			15名

選考区分

※ 元職・現職Ⅰ（高校以外）、元職・現職Ⅱ（高校）

区分		志願資格	合格者数 (R7実施のもの)
一般選考		特別選考の志願資格の方以外はこちら	147
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、通算13ヶ月以上	30
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等で正規採用として3年以上継続して勤務	6
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	現在、本県以外において正規採用として、3年以上継続 ※3年目の方も可	22
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より5名(規定による)	68
	3合特	前年度「大学3年次特別選考A」に合格した者	38
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、5年以上継続 (英語、工業、情報、看護)	1
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	18
	障がい者	障がいのある方	1
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の実績 ※高校の保健体育のみ	0

試験項目・内容

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	70分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養 ※マークシート式
	小論文	70分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	90分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、70分で実施)
	実技試験	—	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	—	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	50分	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	—	小学校と特別支援学校小学部 (英語と音楽の選択) 中学校と特別支援学校中学部 (技術)

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります

選考区分と試験項目

□一次試験

	一般選考	特別選考						前年度B 元職・現職 I
		大学推薦 元職・現職 II	講師等 社会人	3特 (3年次)	3合特 (4年次)	スポーツ	障がい者	
教職教養 ・一般教養	○	免除	—	○	免除	免除	○	免除
小論文	—	—	○	—	—	○	—	
教科・科目	○	○	○	—	○	免除	○	
実技試験	○	○	○	—	○	免除	○	
面接	—	—	—	—	—	○	—	

※中・特中の技術については、二次試験で実技試験を実施します

選考区分と試験項目

□二次試験

	小学校・特支小学部 中学校・特支中学部(技術)		その他の 校種等
	元職Ⅰ・現職Ⅰ	その他	
作文	○	○	○
個人面接1	○	○	○
個人面接2	○	○	○
適性検査	○	○	○
実技試験	免除	○	—

実技試験のある校種等、教科・科目

校種等、教科・科目		試験内容
一次	中学校・特支中学部 高等学校	音楽 ・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
	中学校・特支中学部	美術 ・当日指示するもの
	中学校・特支中学部 高等学校	保健体育 ・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校・特支中学部 高等学校	家庭 ・調理、裁縫
		英語 ・英語による面接
養護教諭		・場面对応
二次	小学校・特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択
	中学校・特支中学部	技術 ・木材加工、回路の製作

小学校の実技(英語・二次試験)

※R7実施のもの

- 英語による簡単な自己紹介
- 日常会話

(例) 英語で答えられますか？

- What sport do you like to play?
- What do you like to talk about with your friends?
- Where do you often go on weekends?

(県HPに掲載の出題例より抜粋)

作文(二次試験)のテーマ

※R7実施のもの

- 児童生徒が前向きに挑戦できる環境をつくるために大切にしたいこと
- 児童生徒の興味・関心・意欲を引き出すために必要な教育とは
- 児童生徒が試行錯誤する学びを支える教育とは
- 児童生徒が社会的に自立して生きていくために
- 他の教職員と協働して勤務する際に大切にしたいこと
- 豊かな体験が児童生徒にもたらすものとは

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます
電子申請による請求もできます

詳しくは→<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>

一次試験の配点

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	—
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし(技術)	100点	100点	—
	実技なし(技術以外)	100点	150点	—
高等学校	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	—
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	—

加点制度を利用した方は、**高校は40点**、**それ以外は30点**を上限に加点されます

二次試験の配点

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部 中学校、特支中学部(技術)	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部(技術以外) 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	—

あなたの配点

一次試験()点 : 二次試験()点

加点制度

R7加点申請者 = 199名

	加点要件	小	中	特小	特中	高
①	「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」又は「英語」の免許状	10				
②	受験教科以外の中学校の免許状		10			
③	受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	30
④	受験教科以外に「福祉」の免許状			10	10	10
⑤	「世・日」の受験者で、「公民」の免許状					5
⑥	「公民」の受験者で、「地理歴史」の免許状					5
⑦	受験教科以外で「数学」又は「理科」の免許状			10	10	
⑧	特支5領域すべての免許状			10	10	
	「視覚」、「聴覚」から1 + 「知的」「肢体」「病弱」から2			5	5	
⑨	特支の免許状	10	10			10
⑩	英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10		
⑪	「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10	10
⑫	司書教諭の資格を持っている又は取得見込み	5	5	5	5	5
⑬	大学推薦特別選考出願者	10	10	10	10	10
⑭	大学推薦特別選考出願者のうち令和8年度「3特A」の合格者	5	5	5	5	5

併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。

組み合わせ①
「小学校」と「特別支援学校小学部」

← 小学校と特別支援学校の
両方の免許状が必要

組み合わせ②
「中学校」と「特別支援学校中学部」

← 中学校と特別支援学校の
両方の免許状が必要

組み合わせ③
「中学校」と「高等学校」(R7は、国・家・英のみ)

← 中学校と高等学校の
両方の免許状が必要

・ポイント①

「小」と「特支小」の教科・科目の問題は同じ

「中」と「特支中」の教科・科目の問題は同じ

「中」と「高」の教科・科目の問題は同じ ※R7は、国・家・英のみ

・ポイント②

第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、第二志望で必ず加点申請ができます

スケジュール

～合格へのロードマップ～

4月中旬～5月中旬



実施要項等のダウンロード

電子申請・各種書類提出

一次試験の対策

7月中旬

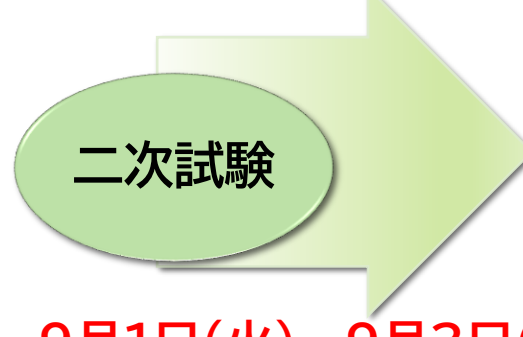


7/11(土)

一次試験の受験

二次試験の対策

8月上旬



9月1日(火)～9月3日(木)

一次試験の合格発表

二次試験の受験

9月下旬



合格発表

採用に必要な書類の提出

必要な手続き

① 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする

※実施要項公表: **令和8年4月17日(金)**

② 「電子申請」で必要事項を入力する

※電子申請期間: **令和8年4月20日(月)～5月12日(火)**

※エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録

(該当者のみ)

③ 「加点申請書」等をダウンロードし、作成する

※加点申請書、特別選考関係書類は**郵送(簡易書留)**で提出

必要な手続き

詳細は**山形県HP**をこまめにチェック！

ホームページの確認が抜け落ちそうで心配……

教員採用X



山形県HP
(教員採用)



県HPの更新
↓
Xで
必ずポストします！

7 電子申請 の手順



電子申請で作成する志願書・受験票

令和7年度採用山形県公立学校教員選考試験志願書

「出願書類記入上の注意」をよく読んで記入すること。

※欄は記入不要

選考区分	校種等	教科・科目	受験番号	顔写真
			※	

小、特支小の資格 有・無	小、特支小の 支取会務 山形会務・東支会務	併願出願希望 有・無	加算申請 有・無	第二志望での加算申請 (併願希望者のみ対象) 有・無	臨時教員等 兼内職経歴 可・不可
-----------------	-----------------------------	---------------	-------------	----------------------------------	------------------------

フリガナ	フリガナ(氏)		フリガナ(名)	
氏名	(氏)	(名)		
生年月日		年齢 (令和7.4.1現在)	歳	性別
国籍	日本国籍を有しない者は国籍を記入すること ()			
電話番号	携帯	固定		
メールアドレス				
現住所	〒			
その他の連絡先	〒			
	電話番号 ()			
最終学歴	大学		学部	学科
	卒業・修了(見込)年月日 年 月 日			
教員免許状	種類・教科等	取得見込・所有	持続・資格・免許	
			受験に際して配慮を希望すること	
			教職に関する表彰歴 「有」の場合、時期、内容を記入	
			刑事罰・懲戒処分・懲罰 「有」の場合、時期、内容を記入	

裏面も記入してください。

学歴(中学校から最終学歴まで全て記入すること)

学歴(中学校から)の始期	から	学歴(中学校から)の終期	まで	学校名
	から		まで	
	から		まで	
	から		まで	
	から		まで	

職歴の始期	から	職歴の終期	まで	事業所名・職名
	から		まで	
	から		まで	
	から		まで	
	から		まで	
	から		まで	

体育実技試験選択希望記入票 (中・特中・高の保健体育志願者のみ)

氏名			
志願校種	性別	受験番号	※

次のア～オの5領域から二つを選択し、第1選択(1番目に受験を希望する領域)と第2選択(2番目に受験を希望する領域)を記入してください。
また、ウ 球技、エ 武道を選択した場合には、希望する種目を選んでください。

	領域	種目
第1選択		
第2選択		

※希望者の人数によって、希望する順にならない場合があります。
領域から切り取り、受験の際に持参すること

令和7年度採用山形県公立学校教員選考試験受験票

氏名			
顔写真	受験番号	※	
	選考区分	校種等	
	教科・科目	実技(小・特支小)	

受験心得

- 受験の際は、必ず受験番号の記載のある本票を持参すること。
- 試験開始20分以降は、会場への入場及び受験を認めない。
- 試験会場の建前内では、ICレコーダーや携帯電卓等、録音・録画・通信・通訳のできる機器の使用を必ず禁ずること。
- 計時機能以外の機能を有する腕時計型端末等の使用は認めない。

※ 試験会場への自動車での来場及び試験会場付近での送迎者の駐車等は禁止する。
※ 試験会場は数値内禁煙とする。

※参考

電子申請について

1. まずは、「**電子申請マニュアル**」を準備しましょう！ 県HPからダウンロード

2. 電子申請を始める前に、準備しておくといけないもの

① 顔写真の**電子データ**（全員）

- ・スマホで撮ったものでも使えます
- ・コンビニ前に設置されている証明写真機でも、電子データをアプリに保存できます
- ・街の写真屋さんでも、「電子データください」と伝えればOK！

【注意】

写真は**縦長**のものを準備する。
一般的な証明写真のサイズ比
(縦4 cm、横3 cm) などがベスト
3カ月以内に撮影したものを使用

文字の**濃さや太さ**
に注意して！

② 入力済みのエントリーシート(3特志願者以外の全員)

- ・**Wordで作成したものをPDFに変換してアップする！**
- ・「**手書きが良い**」という方は、**書いたものをPDFや画像データ**にすればOK！

電子申請について

3. 「やまがたe申請」のページを開く
 - (例)・要項の二次元コードやURLから開く
 - (例)・教員採用試験のホームページのリンクから開く
 - (例)・検索ページに「やまがたe申請」と入力し検索する。
4. やまがたe申請の画面において、「採用試験」等のキーワードで検索して、出願ページにアクセスする。

電子申請について

5. 必要事項を入力していく

- ①「利用者登録せずに申し込む」
もしくは
- ②「利用者登録」

※どちらでも出願可能。

※IDやパスワードは必ず控えてください。



利用者ログイン

手続き名	令和7年度採用山形県公立学校教員選考試験出願4
受付時期	2024年4月3日10時16分 ~ 2024年5月12日0時00分

① [利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、
または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していただいたパスワード、
または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。
忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

※昨年度の画面

電子申請の手順

ー入力全般にわたる注意ー

アルファベット や 数字 は全て

「半角入力」

申請者氏名 **必須**

申請者の氏名を入力してください。

(特殊な文字を使用する場合は、もっとも近い文字を入力し、一番下の「備考」

氏:

出羽

名:

雪若丸

フリガナ (氏) **必須**

フリガナ (氏) を入力してください。(半角カタカナのみ)

デワ

フリガナ (名) **必須**

フリガナ (名) を入力してください。(半角カタカナのみ)

ユキワカマル

電子申請の手順

大学3年次特別選考に出願するかどうかを選択する

※この結果によって、以降表示されるものが変わります

大学3年次特別選考への出願選択 **必須**

まず初めに、大学3年次特別選考に出願するかどうかを選択してください。

- 「大学3年次特別選考」に出願します
- 「大学3年次特別選考」以外に出願します

選択解除

電子申請の手順

志願する校種等、教科・科目、
選考区分を選択する



試験会場を選択する

※校種等、選考区分に合わせて表示

※「山形工業高等学校」と「東京会場」

の選択ができる場合は、選択する

(出願後変更できません)

志願校種等 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

該当する志願校種等（第一志望）を選択してください。

--選択してください--

選考区分2を選択してください。 **必須** 選択肢の結果によって入

志願する選考区分を1つ選択してください。

--選択してください--

試験会場を選択してください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わ

特定の校種、教科・科目へ出願した方は、試験会場について「山形工業高等学校」か「東京会場」
い。

(出願後の変更はできません)

--選択してください--

電子申請の手順

○ 昨年度の受験番号について

以下の該当者は、昨年度の受験番号を入力

- ・前年度二次Bランク特別選考
- ・3特A合格者特別選考
- ・大学推薦特別選考で昨年度「3特A」に合格したことによる加点申請を希望する者

昨年度出願時の受験番号を入力してください。 **必須** 選択肢の結果によつ

昨年度受験した際の受験番号を入力してください。

昨年度受験した時の受験番号（半角アルファベット1文字+半角数字4桁）

電子申請の手順

○ 実技の選択について

- ・各校種の「保健体育」
- ・小学校
- ・特別支援学校小学部

は選考区分によって実技の選択があります。

※小学校英語は必ず「英語」になります。

中・特中・高の体育実技選択 1（領域）

必須

選択肢の結果は

中・特中・高の体育実技選択 1（領域）

--選択してください--



中・特中・高の体育実技選択 2（領域）

必須

選択肢の結果は

中・特中・高の体育実技選択 2（領域）を一つ選択してください。なお、選択 1 と同

--選択してください--



小学校・特支小学部の二次試験実技を選択してください。

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

二次試験における実技試験の教科をひとつ選択してください。（小学校又は特支小学部志願者）

--選択してください--



電子申請の手順

○ 併願出願について

- ・併願出願可能な校種・教科等の志願者は、第2志望を選ぶ。

(※希望しない場合はなしを選択)

併願出願を選択してください。 **必須** 選択肢の結果に

第2志望について回答してください。

--選択してください--



電子申請の手順

○ 加点申請について

加点における注意点

① 加点は「申請」

※資格・免許等があっても自動的に加点はされません。

② チェックを入れただけではダメ

→ 別途郵送による書類の提出が必要

③ 第2志望がある場合は、特に注意。

※第1志望で該当しなくても、第2志望で該当する場合も。

加点申請の有無 選択肢の結果によって入力条件が変わります

加点申請がある場合はチェックを入れてください。

有

第二志望における加点申請の有無 選択肢の結果によって入力条件

第二志望における加点申請がある場合はチェックを入れてください。

有

電子申請の手順

最終学歴(学校名、学部名)を入力する

- すべての学校を完全に網羅できない
→該当する学校名が**無い場合、「その他」**を選択
- その後、正式名称を入力 **年月日は半角数字**で入力

最終学歴（学校名） **必須**

最終学歴（学校名）を選択してください。

- 選択肢にない場合は「その他大学」「その他短大」「その他高校」を選択してください。
- 大学入学資格検定の合格者は「大検」を、高等学校卒業程度認定試験の合格者は「高卒認定」をそれぞれ選択し

(全検索を行う場合は、条件を空にしてください。)

電子申請の手順

○ 職歴について

・職歴欄(10個)に**入力しきれない時**

→ 「**職歴の続きがある**」にチェック

職歴を**参考様式**で作成し、**追加添付**する。

※職に就いていない期間が1カ月を超える場合は「**在家庭**」等と記入。

1カ月に満たない場合は記入不要。

例 平成30年3月30日までの講師で任用され、
平成30年4月1日から再び講師で任用された。

→1日だけ空白がある場合などは、**記入不要**。

職歴1の始期

職歴1の始期を入力してください。

職に就いていない期間が1カ月を超える場合は「**在家庭**」等と入力してください。

年 月 日

職歴1の終期

職歴1の終期を入力してください。

年 月 日

職歴1の事業所名・職名

職歴1の事業所名・職名を入力してください。

例1：〇〇株式会社（正社員）

例2：〇〇県〇〇市立〇〇小学校（常勤講師）

職歴の続き

入力しきれない職歴がある場合はチェックを入れてください。

職歴の続きがある

電子申請の手順

顔写真を登録する

- ・ファイル名は「**氏名+生年月日(西暦)8桁**」

例 「出羽雪若丸20030512」

※姓名の間や生年月日との間にスペースは不要。

※**写真は3カ月以内に撮影した縦長**の写真を準備。

エントリーシートを登録する

- ・ファイル名は「**ES+氏名+生年月日(西暦)8桁**」

例 「ES出羽雪若丸20010512」

Wordの**様式やフォントサイズは変更しない**で作成し、完成したら**PDFに変換**すること。

(A4片面1枚に収まるように作成) PDF,JPG,JPEG,PNGであれば登録可

顔写真の登録 **必須**

顔写真の電子データを添付してください。(png,jpeg,jpgのみ)

ファイル名は「氏名+生年月日8桁」としてください

例：出羽雪若丸20030512.jpg

ファイルの選択 ファイルが選択されています

削除

写真データのファイル形式はこの3つのみ可になっている。

電子申請の手順

- 全ての入力終了したら「確認へ進む」
- PDFが出力できる
 - 必ず出力して確認してください。
 - 確認後「申込む」を押してください。

申込完了

R6教員選考試験志願書等作成 (test07) の手続きの申込を受付しました。

下記の整理番号 とパスワード を記載したメールを送信しました。


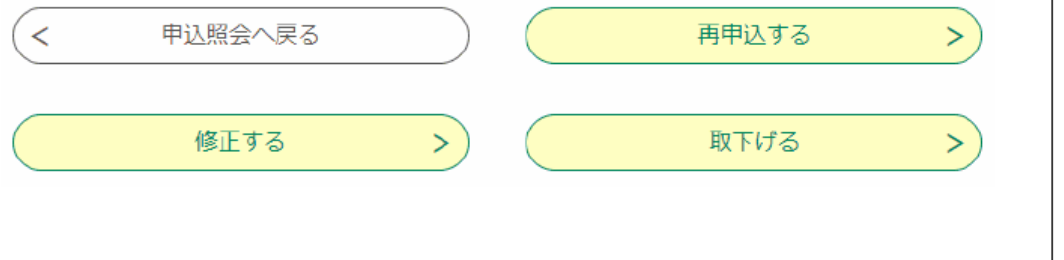
メールアドレスが誤っていたり、フィルタ等を設定されている場合、
メールが届かない可能性がございます。

整理番号	108703231824
パスワード	2C6rDCH89%

※参考

- 「整理番号」と「パスワード」は、
登録されたメールアドレスへ送付されます。
- 受験票をダウンロード(印刷)する際に必要な
なので、紛失しないように管理してください。

→ もしも入力完了後に誤りに気づいたら…

<p>1</p>	<p>「やまがた e 申請」トップページから「申込内容照会」をクリックしてください。</p> <p>整理番号とパスワードが求められますので、「申込完了通知メール」に記載の整理番号とパスワードを入力してください。</p>	 <p>The screenshot shows the top navigation bar of the 'やまがた e 申請 山形県電子申請サービス' website. It includes a logo on the left and a navigation menu with three items: '申請団体選択' (Select Application Organization), '申請書ダウンロード' (Download Application Form), and '申込内容照会' (Check Application Content). The '申込内容照会' button is highlighted with a red circle.</p>
<p>2</p>	<p>下の方に右のようなボタンがあります。「修正する」を押して、必要に応じて修正を行ってください。</p> <p>修正した場合は、教職員課 採用試験担当へ電話連絡をお願いします。</p>	 <p>The screenshot shows a set of four buttons for managing the application. The buttons are: '申込照会へ戻る' (Return to Application Review), '再申込する' (Re-apply), '修正する' (Correct), and '取下げる' (Cancel). The '修正する' button is highlighted in green.</p>

「やまがたe申請」トップページから「申込内容照会」をクリック

→案内に従って修正する。(整理番号とパスワードが必要)

入力完了後に訂正した場合は必ず教職員課に電話にて連絡してください。

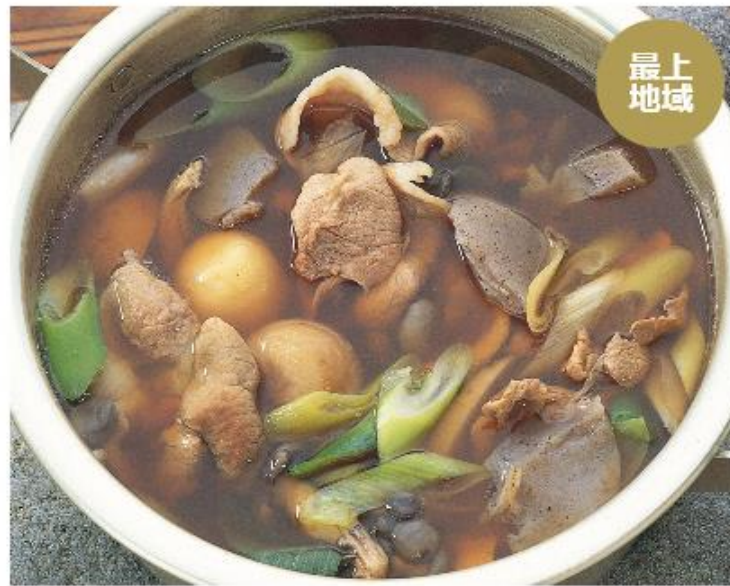
8 よくある 質問



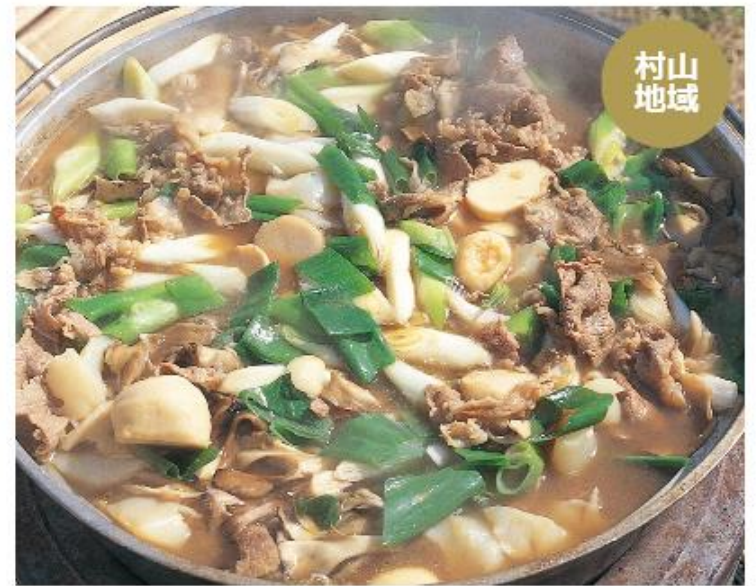
豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味（かくし味に味噌）



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

採用延期制度

- 合格後、下記の1又は2に該当する場合、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 ➡ 2年延期
2. 大学院修士課程*1年次に在学中の合格者 ➡ 1年延期

- 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること
※延期期間終了までに専修免許状が取得できない ➡ 採用無効

出願についてのQ&A

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？

A: どちらを選択しても、有利不利はありません。
自分の力をより発揮できる方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？

A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？

A: (残念ながら) **できません**。

出願についてのQ&A

Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支学校小学部を志願**することはできますか？

A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。

Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「特支小学部」を**併願**することはできますか？

A: (残念ですが)できません。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

Q: 大学3年次特別選考Aで不合格となり、4年次に一般受験する場合、**合否に影響**はありますか？(大学3年次特別選考不合格が不利になることはある？)

A: 大学3年次特別選考の不合格が、4年次の受験で不利になることはありません。

HPは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも**相談**してください！！

山形県教育局教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日**常に募集**しており、**随時任用**(採用)しています
登録票(履歴書)を提出した方と相談して、任用する学校が決まります
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

「教育やまがた人材バンク」がリリースされました！

山形県内の学校で働きたい方と学校現場をつなぐマッチングシステムです。指導経験を問わず、幅広い教育人材を募集中です。初期登録は3分程度です。詳細はQRからどうぞ！

